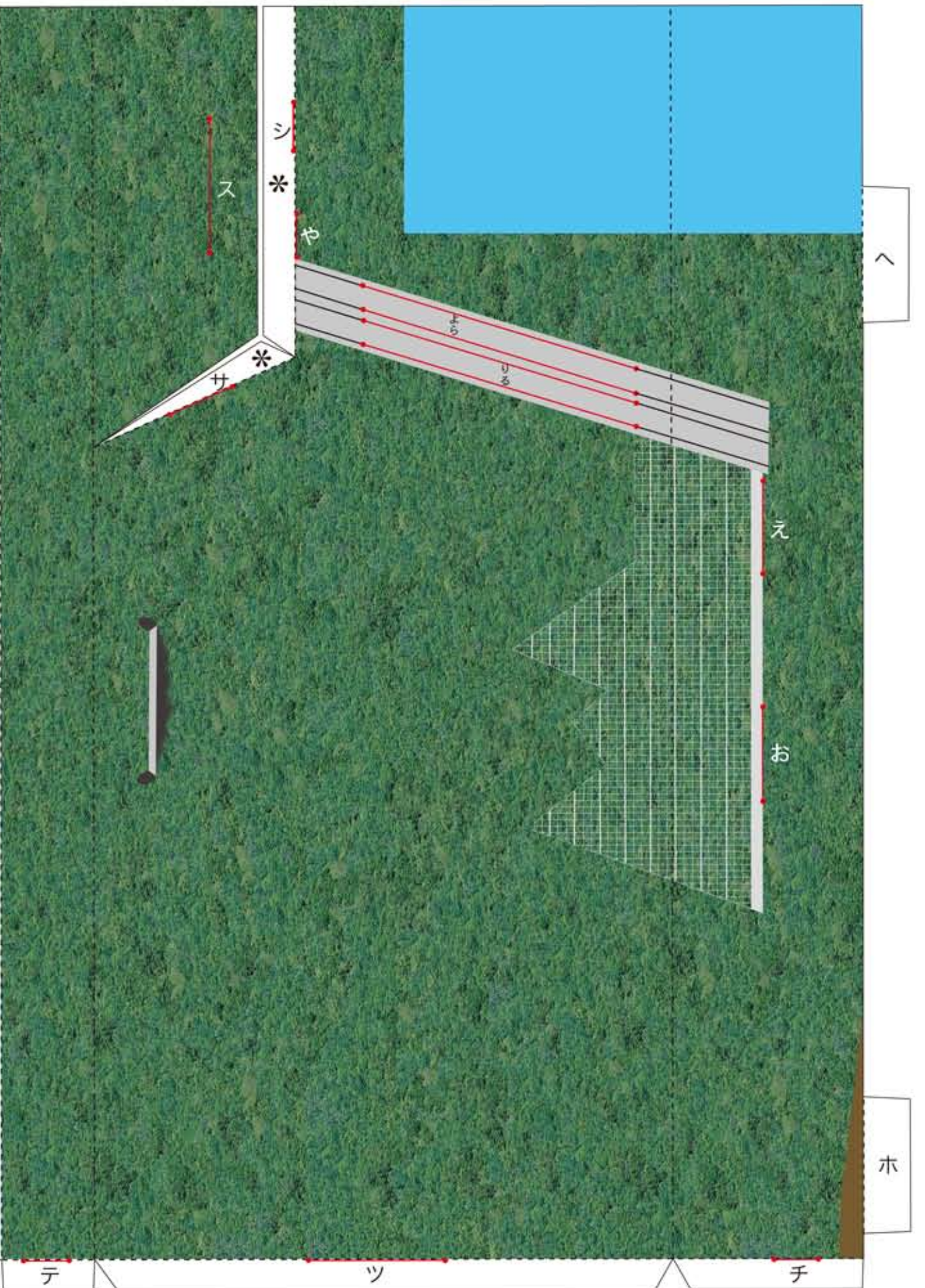
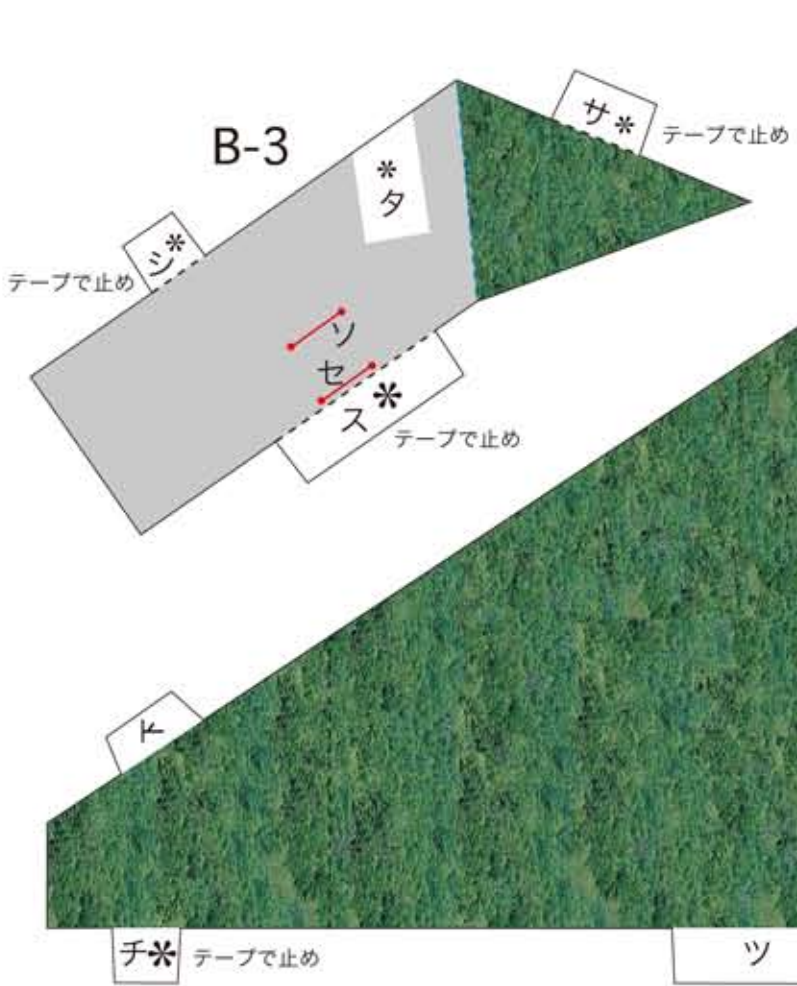


B (大きい山)



宮ヶ瀬ダム4つの働き



宮ヶ瀬ダムの機能

非常用洪水吐

ゲートを持たない過流式で、スラストゲートに一旦貯められた水が非常用洪水吐より放流されます。通常使用されることはなく、試験放流でのみ使用されました。

高位常用洪水吐設備

洪水調節を目的とする水門で、ダム堤体を上下流方向に貫通する2本の放流管路の途中にあり、1本の放流管から最大で1秒間100m³での放流ができます。

利水放流設備

大雨などによりダム堤体からの放流量が、豊川第1発電所の最大使用水量を超える場合に、余剰分の水を放水するために使用されます。



選択取水設備

水温の変化や濁りによる、下流河川の自然生態系へ影響をできるだけ与えないように、ダム湖の取水位置を調節し、きれいで適温の水を下流に流すことができます。

低位常用洪水吐設備

洪水が連続して発生した場合、最初の台風や大雨によって上昇した水位を次の洪水に備えて速やかに低下させるための放流を行います。

石小屋ダム

豊川第1発電所が発電放流した水を一旦貯めて、中津川への安定した放流を行うとともに、津久井導水路のための水位確保、水の勢いを弱める減勢池としての役割を果たします。